

滋賀文教短期大学 卒業生に関する就業状況調査（2021年度卒業生 就業先対象）

令和5(2023)年3月
滋賀文教短期大学

目的： ・職業安定法に基づいて「就職後6ヶ月以内の離職状況」を調査するため
・今後の本学の進路支援・教育内容の質の向上のため

対象： 令和3(2021)年度 本学卒業生の就業先事業所

方法： 卒業生の就業先へ配属先の事業所ごとに郵送し、返信用封筒にて回収

時期： 令和4年(2022)年 9月

件数：

	発送	返送	返送率
国文学科	21	17	81.0%
子ども学科	42	34	81.0%
計	63	51	81.0%

(返送数は調査年9月28日現在)

質問： ○回答者の方の情報(事業所名、所属、役職、氏名)
○対象の卒業生の在職状況(退職の場合は退職日)

A.本学卒業生について、特に改善が求められる点を3つまで選び、丸をつけてください。

- 1.論理的思考力（具体的根拠を基に考えたり議論したりする力）
- 2.事務処理能力（文章作成能力、パソコン技能、電卓計算能力）
- 3.基礎学力（短期大学卒業程度の学力、一般常識）
- 4.専門知識・技能（専門分野についての豊富な知識）
- 5.対人能力（議論の意図を理解する力、意見の異なる人とも協力する力）
- 6.課題解決力（自ら課題を発見し、取り組み、解決する力）
- 7.主体性・自立性（すぐに他人を頼らず、自分でやり遂げる力）
- 8.成長意欲（入職後も自己研鑽しようと地道に努力を継続する力）
- 9.リーダーシップ（他人を巻き込んで、物事に取り組む力）
- 10.その他（自由記述）

B.本学卒業生の評価について、それぞれ一つを選び、丸をつけてください。

- (1)仕事に対して、主体的に働きかけ、実行する力
- (2)課題を発見し、自分なりに考えた上で、新しいことを考える力
- (3)他人の話を傾聴した上で自分の意見を伝える力
- (4)職場で適切な議論をする力
- (5)時間や期限を守ったり敬語を使ったりするなどの社会のマナー
- (6)文章作成能力、パソコン技能等の事務処理能力
- (7)短期大学卒業レベルとして社会で活躍する力
- (8)社内や部署内全体の状況を把握した上で働く力
- (9)就職後も自ら学び続ける力
- (10)ピアノ演奏や弾き歌いの音楽の技能
- (11)子どもや保護者との関わり等においての対応力
- (12)子どもの安全や健康について、全体の様子を把握して配慮する力
- (13)教育者・保育者としての使命感・倫理観

評価： 1.秀 2.優 3.良 4.可 5.不可

※評価目安：満点を100点としたとき、秀100～81点、優80～61点、良60～41点、可40～21点、不可20～0点

C.その他、お気づきの点がありましたら、ご記入をお願いいたします。

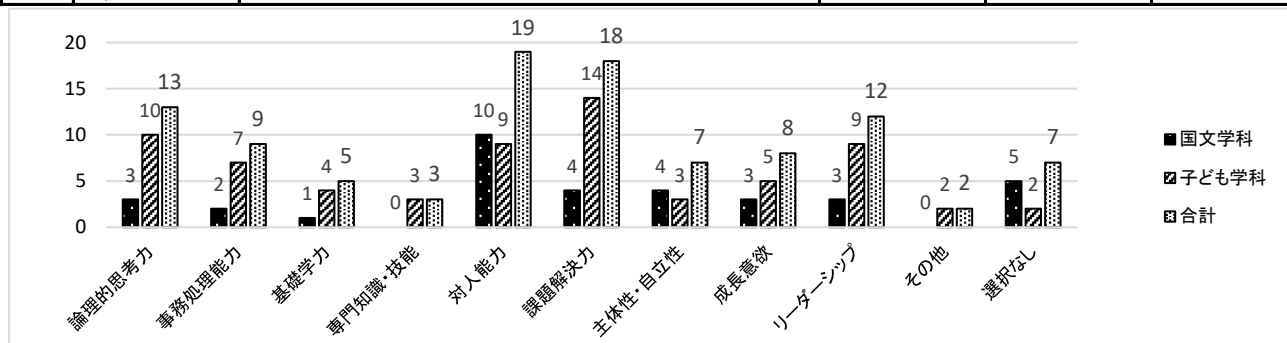
実施後： ・本学ホームページ上で卒業生に関する就業状況調査の集計結果(A・B)を公表
・本学ホームページ上で正規のうち6ヶ月以内の離職状況を公表
・集計結果をふまえ、学内の進路支援および教育内容の改善を検討する

滋賀文教短期大学 就職先アンケート 集計結果 (2021年度卒業生 就業先対象対象)

令和4(2022)年9月28日現在

A. 本学卒業生について、特に改善が求められる点を3つまで選び、丸をつけてください。

No.	評価項目	評価項目詳細	国文学科	子ども学科	合計
1	論理的思考力	具体的根拠を基に考えたり議論したりする力	3	10	13
2	事務処理能力	文章作成能力、パソコン技能、電卓計算能力	2	7	9
3	基礎学力	短期大学卒業程度の学力、一般常識	1	4	5
4	専門知識・技能	専門分野についての豊富な知識	0	3	3
5	対人能力	議論の意図を理解する力、意見の異なる人とも協力する力	10	9	19
6	課題解決力	自ら課題を発見し、取り組み、解決する力	4	14	18
7	主体性・自立性	すぐに他人を頼らず、自分でやり遂げる力	4	3	7
8	成長意欲	入職後も自己研鑽しようと地道に努力を継続する力	3	5	8
9	リーダーシップ	他人を巻き込んで、物事に取り組む力	3	9	12
10	その他	自由記述	0	2	2
*	選択なし	改善点がない、評価を控えるなど、選択がなかったケース	5	2	7



- ・改善点がないケースが国文4名、子ども2名あった。3つ未満しか選択がなかったケースも国文2名、子ども11名あった
- ・国文学科は「対人能力」、子ども学科は「課題解決力」と「論理的思考」が特に多く選択された。

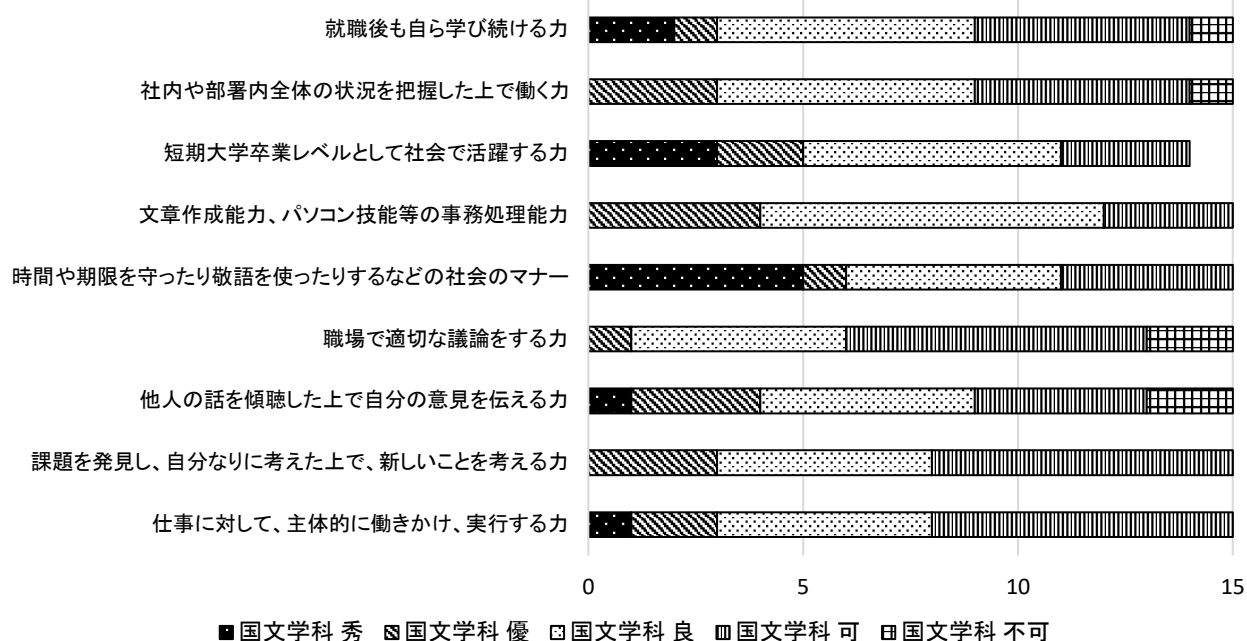
B. 本学卒業生の評価について、それぞれ一つを選び、丸をつけてください。

No.	評価項目	国文学科					子ども学科					合計 回答数
		秀	優	良	可	不可	秀	優	良	可	不可	
1	仕事に対して、主体的に働きかけ、実行する力	1	2	5	7	0	2	6	19	7	0	49
2	課題を発見し、自分なりに考えた上で、新しいことを考える力	0	3	5	7	0	0	6	15	11	2	49
3	他人の話を傾聴した上で自分の意見を伝える力	1	3	5	4	2	4	4	16	9	1	49
4	職場で適切な議論をする力	0	1	5	7	2	0	8	11	11	4	49
5	時間や期限を守ったり敬語を使ったりするなどの社会のマナー	5	1	5	4	0	9	8	13	4	0	49
6	文章作成能力、パソコン技能等の事務処理能力	0	4	8	3	0	3	9	14	6	2	49
7	短期大学卒業レベルとして社会で活躍する力	3	2	6	3	0	4	8	14	7	1	48
8	社内や部署内全体の状況を把握した上で働く力	0	3	6	5	1	1	10	9	11	3	49
9	就職後も自ら学び続ける力	2	1	6	5	1	4	8	15	7	0	49
10	ピアノ演奏や弾き歌いの音楽の技能						2	1	13	4	0	20
11	子どもや保護者との関わり等における対応力	0	1	0	0	0	0	11	13	4	3	32
12	子どもの安全や健康について、全体の様子を把握して配慮する力	0	1	0	0	0	1	8	15	5	2	32
13	教育者・保育者としての使命感・倫理観	1	0	0	0	0	3	10	13	5	0	32
合計		13	22	51	45	6	33	97	180	91	18	

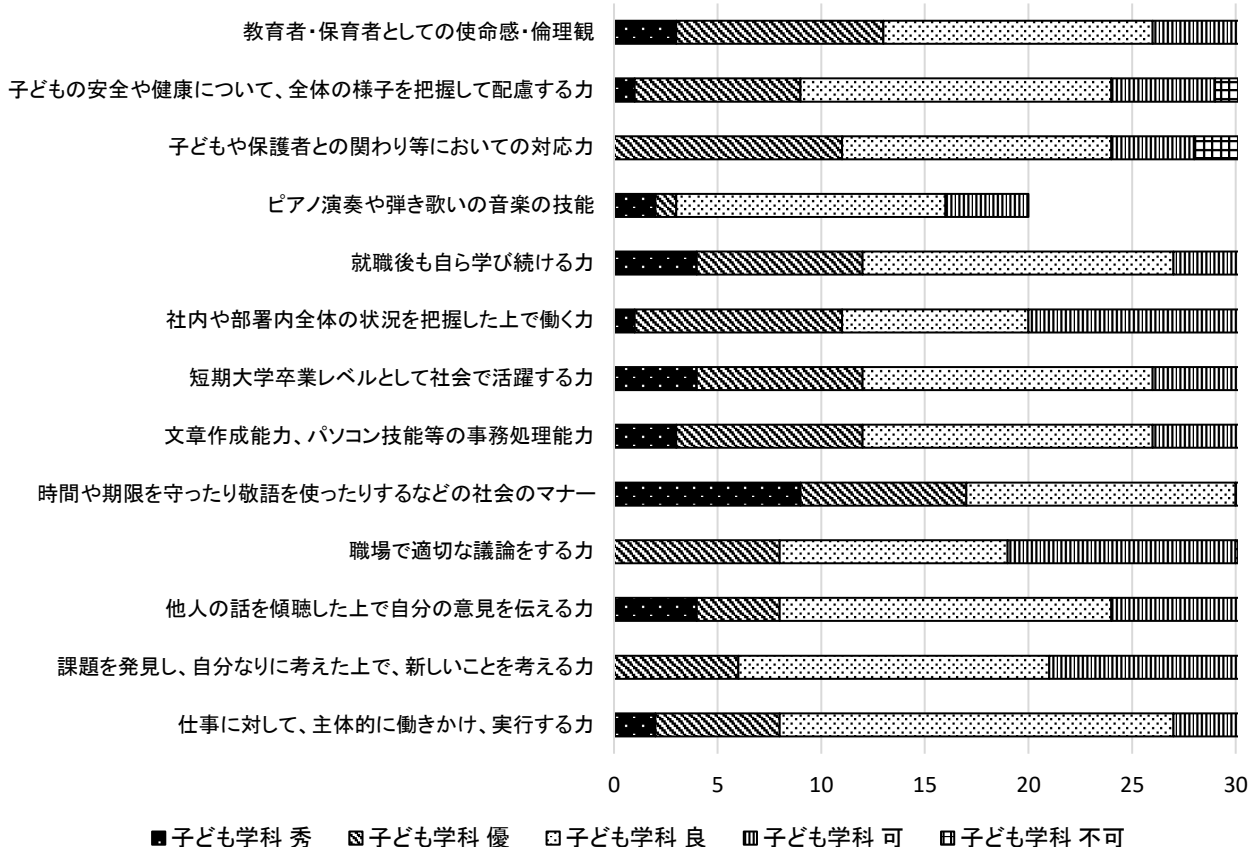
*国文はNo.10-13の回答不要だが、一部評価。No.7は1件無回答でNo.1-6,8,9と合計が異なる。No.10も8件無回答でNo.11-13と合計が異なる。

(次ページに続く)

B.本学卒業生の評価（国文学科）



B.本学卒業生の評価（子ども学科）



最も高評価だったのは両学科ともに「時間や期限を守ったり敬語を使ったりするなどの社会のマナー」だった。次いで、国文学科は「短期大学卒業レベルとして社会で活躍する力」が高く、子ども学科は「就職後も自ら学び続ける力」が高かった。一方、最も低い評価だったのは両学科ともに「職場で適切な議論をする力」で、次いで両学科ともに「課題を発見し、自分なりに考えた上で、新しいことを考える力」の評価が低かった。

なお、No.10-13は小学校や保育所等を対象とした項目のため、学科・職種に関わらず、小学校・保育所等に就職した者は評価がなされた。音楽の技能に関する項目は回答が少なかったが、回答の中に不可評価はなかった。

以上